

ハンドブック
2021年3月

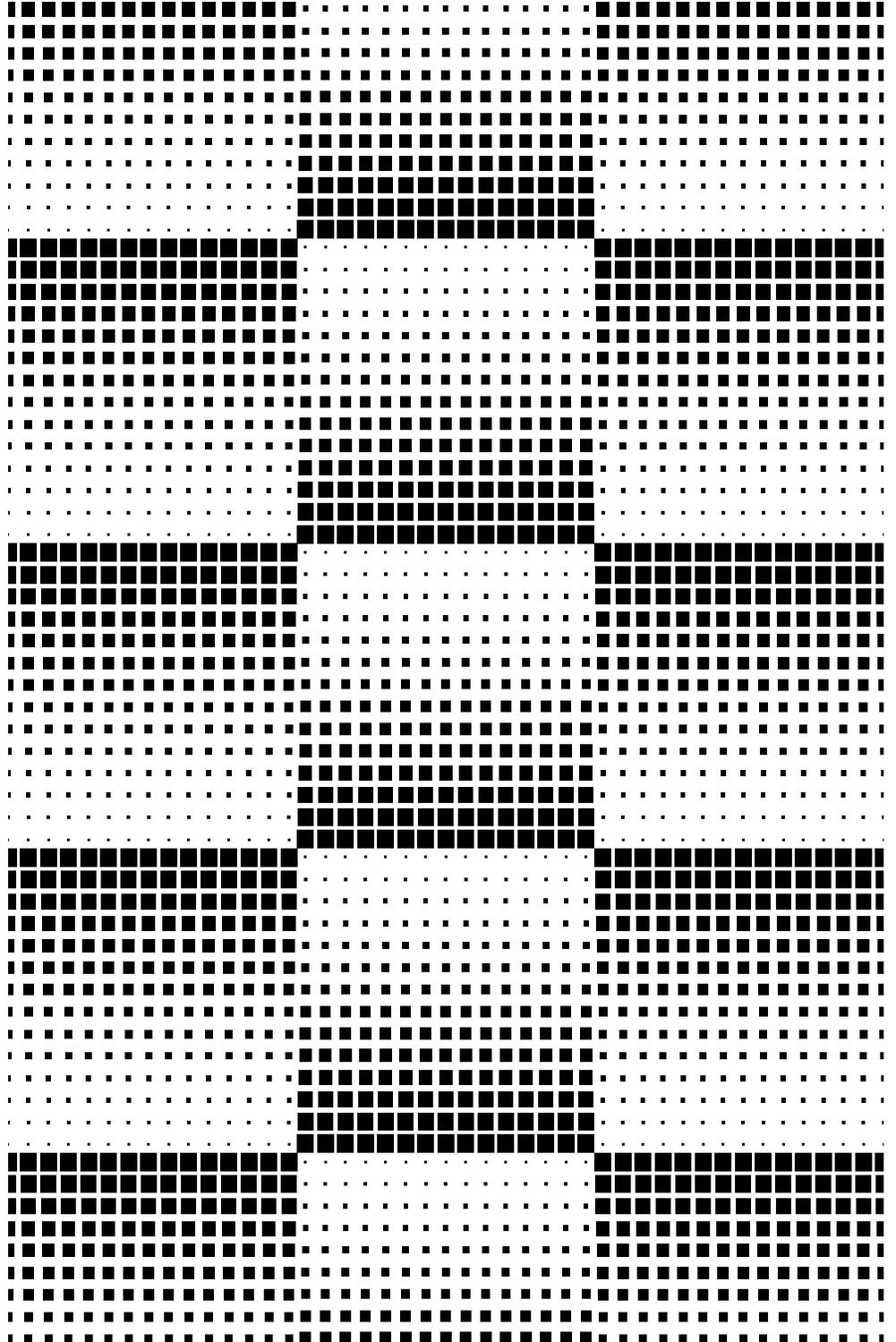
Certification プログラム ハンドブック

Okta Inc.

100 First Street

San Francisco, CA 94105

certification@okta.com



目次

- 2 はじめに
- 3 認定を受ける理由
- 5 受験
- 9 ポリシー
- 14 重要な用語の定義

はじめに

本ハンドブックでは、Okta Certificationプログラムで提供されるすべての認定資格に適用されるポリシーと手順について説明します。Okta試験を受験することにより、Okta Certificationプログラム契約、本ハンドブック、ならびにOkta TrainingおよびOkta Certificationウェブサイトに記載された条件および規則を確認して、遵守することに同意するものとします。

認定を受ける理由

価値

Okta Certificationは、IT専門家が試験を通じて自身の知識とスキルを証明するためのプログラムです。Oktaの認定資格は、企業ではなく個人に対して付与され、Oktaサービスを使用したアイデンティティおよびセキュリティソリューションの管理、実装、開発およびアーキテクト担当者の基本的な能力基準を確立するものです。

認定資格保持者は市場内で差別化され、キャリア目標を前進させることができます。また企業は、認定資格を利用して、従業員のスキル開発を管理したり、公式に証明されたスキルセットを備えた新たな人材を容易に採用したりすることで、競争力を高めることができます。

メリット

Oktaの認定資格取得によって成功への強い意思を示すことができ、個人にも企業にもプラスの効果を得られます。

以下の点を実現したい場合は、Oktaの認定資格の取得を検討してください。

- ・ 自身のスキルセットに自信を持って、業界で認知してもらう
- ・ OktaのID管理とセキュリティソリューションに役立つ専門知識を示す
- ・ 能力を高め、キャリアチャンスを育む
- ・ 自身の差別化を図り、職場に新たな価値をもたらす
- ・ どこでも通じる認定資格を取得して、仕事の流動性を高める
- ・ 生涯学習とキャリア開発を高く評価する優秀なIT専門家集団に加わる

Oktaの認定資格を支持する企業は、以下のようなメリットが得られると考えています。

- ・ 自社スタッフのスキルと知識を一般的に認知されたベンチマークに照らし合わせて評価できる
- ・ 生産性が向上する
- ・ 自社スタッフが総合的な品質のサポートを利用者に提供しているという保証が得られる
- ・ スタッフの能力を証明することでOktaへの投資が保護される
- ・ 知識の普及と新機能の導入によりROIが改善する
- ・ 自社組織で新たな人材を採用する際に、資格を満たした候補者を簡単に識別できる

ルールに応じた認定資格

Oktaの認定資格はロールベースであり、Oktaインスタンスの実装または管理に携わる主な技術担当者のベースラインとなるスキル基準を測定できるように設計されています。1つまたは複数のOktaの認定資格試験に合格するか、パフォーマンスベースのアクティビティ基準を満たすことにより、認定資格を取得できます。

プログラムの対象となる認定資格には、以下のものが含まれます。

- ・ Okta Certified Professional
- ・ Okta Certified Administrator
- ・ Okta Certified Consultant
- ・ Okta Certified Developer

Okta Certified Professional

Okta Certified Professional認定資格保持者は、Oktaを理解しています。安全なID管理や流動性の概念に関する知識を有しています。Oktaサービスのユーザーをサポートする日々の運用タスクをハンズオンした経験があります。また、初歩的なディレクトリー統合やシングルサインオンフェデレーション、ユーザーライフサイクル管理のアプリケーションプロビジョニング分野に関連したOktaのテクノロジーやプロセスに通じています。

Okta Certified Administrator

Okta Certified Administrator認定資格保持者は、Oktaを管理できます。Oktaサービスの管理において優れた技術と経験を有しています。モバイルデバイスやセキュリティーポリシーフレームワーク、対応しているSSOのオプション、高度なディレクトリー統合によるクラウドおよびオンプレミスへのアクセスなどの高度なユーザーライフサイクル管理シナリオを、Oktaがどのように実現しているかに関して、幅広い知識を備えています。また、Oktaのポリシーフレームワークを駆使してユーザーアクセスを管理するほか、Universal Directoryを使用してID属性やデータ変換をマッピングする方法を理解し、問題を解決する能力があります。

Okta Certified Consultant

Okta Certified Consultant認定資格保持者は、Oktaを実装できます。あらゆる構成におけるOktaサービスの実装において優れた技術と経験を有しています。またOffice 365やG Suite、Box、Salesforceなどの一般的なアプリケーションとOktaを統合した経験があります。加えて、マルチフォレストおよびマルチドメイン環境、高度なシングルサインオン(SSO)、Oktaのインバウンドフェデレーションを含む、複雑なOkta統合のスコーピングや実装に関して幅広く理解しています。Okta APIとカスタム構成オプションに関する実用的な知識を備えています。

Okta Certified Developer

Okta Certified Developer認定資格保持者は、OktaのAPIとSDKを使用して、安全でシームレスなエクスペリエンスを構築できます。Okta RESTful APIの作業とウェブアプリケーションの開発において優れた技術と経験を有しています。OpenID Connect (OIDC) やOAuthに加えて、認証の構築や柔軟な承認、ルールに応じたアクセス制御の基準をどのようにサポートしているかなど、認証と承認の基準に関する一般的な理解を持っています。またAPI Access Managementの認証構成とOIDCでのシングルサインオン(SSO)実装の経験を有しています。Okta Lifecycle Managementと管理用APIに関する実用的な知識を備えています。

受験資格や試験のブループリント、推奨される準備方法の詳細については、関連する試験学習ガイドをご覧ください。

受験

認定試験はExamity®によって管理および監督されます。Oktaは、セキュアなオンライン試験監督サービスであるExamityと提携して認定試験の信頼性を確保しています。オンラインで試験監督が行われるため、受験者はテストセンターに足を運ぶことなく、都合の良いときにほぼどこからでも試験を受験できます。Oktaは、自らの裁量により、対面でのテストセッションの実施を選択することもできます。

試験への登録と受験に関する説明については、[Examityユーザーガイド](#)をご覧ください。

受験資格

試験に登録して受験するには、受験者は以下の条件を満たしていなければなりません。

- ・ 18歳以上であるか、[こちら](#)からダウンロードできる「未成年者の親または保護者による署名フォーム」に親または保護者が連名で署名している
- ・ 過去にプログラムへの参加を禁止されたことがない

登録

Examityサイト (prod.examity.com/okta) でユーザープロフィールを作成します。名前、会社名、メールアドレス、電話番号を入力して、最新の顔写真（身分証明書ではなく、写真のみ）を添付します。

注意：運転免許証やパスポート、その他の政府発行の身分証明書など、法的本人確認書類のアップロードをOktaが求めることはありません。受験当日に試験の認証プロセスの一環として法的本人確認書類を提示するよう求められますが、受験者の機密クレデンシャル情報への不正アクセスを防ぐため、政府発行の身分証明書などがOktaの認定資格試験のユーザープロフィールに記録されたり、保管されたりすることはありません。

登録時に以下のような行為を行うことは固く禁じられています。

- ・ 自身または他者について虚偽あるいは誤解を招く本人確認情報を提供する
- ・ 他者のExamityログイン情報を使って、Okta試験に登録または受験する
- ・ 自身のExamityログイン情報を他者に使用させ、Okta試験に登録または受験させる
- ・ Examityサイトで複数のプロフィールを作成する
- ・ 複数のExamityログイン情報を使用して、同時に複数の試験に登録する

受験料、キャンセル、再スケジュール

いずれのOktaの認定資格試験も、試験日程調整、支払い、再スケジュールおよびキャンセルはExamityによって管理されています。Examityシステムを介して、これらのアクションを行う必要があります。Okta Certified Professional、Okta Certified Administrator、Okta Certified Developerのいずれの受験料も250米ドルです。Okta Certified Consultantの受験料は300米ドルです。Okta Certified Professional、Okta Certified Administrator、Okta Certified Developer、Okta Certified Consultantの2回目以降の受験の場合、いずれの再受験料も100米ドルで、150米ドルから200米ドルの大幅な再試験割引が適用されます。Okta試験の受験料は、試験日程の予約時に決済されます。決済にはクレジットカード、デビットカードまたは試験クーポンが使用できます。キャンセルする必要がある場合、キャンセルポリシーに従った場合にのみ払い戻しが行なわれ、予約時に使用したクレジットカードに返金されます。

- ・ 希望する試験時間の24時間前までに試験を登録する必要があります
- ・ 試験開始の24時間前までであれば予約の再スケジュールまたはキャンセルができます
- ・ 試験時間を過ぎてからの試験の再スケジュールまたはキャンセルはできません
- ・ 予定した時間内に試験開始し完了せず、かつ、24時間前までにExamityにキャンセルまたは再スケジュールの連絡をしなかった場合、受験料の全額が請求されます

受験上の配慮: 受験時に配慮を希望する場合は、受験日の30日前までにcertification@okta.comにご連絡ください。

採点方法と試験結果

合格点: 試験合格のしきい値は、統計分析の結果と、Oktaの専門家および精神測定学者からのアドバイスに基づいて設定されています。Oktaは出題問題が更新されるたびに継続的に試験問題の見直し、更新、調整を実施し、Oktaの機能拡張に応じて出題問題の正確性を確保しています。そのため、Oktaは試験結果を合格または不合格のみで開示しており、合格点を公開することはありません。

試験結果: 合格/不合格の試験結果は、受験後10日以内にメールで送信されます。公開されている要件をすべて満たすと、認定資格が付与され、名刺や業務用販促資料への認定タイトルおよびロゴの使用が許可されます。

試験結果の留保: Oktaは結果の信頼性と全受験者の公平性を確保するため、すべての試験の成績を定期的にチェックしています。試験成績のチェック中には、Oktaが試験結果を留保する場合があります。試験結果が留保された場合は有効と見なされず、資格は認定されません。試験結果が留保された受験者は無料で再受験できます。プログラム契約またはハンドブックに記載されたポリシーに違反したことにより試験結果が留保されたことが明らかになった場合、Oktaはプログラム契約に説明されているとおり、さらなる措置を講じます。

受験者の再受験:不正が疑われる場合や異常な試験結果が検出された場合、Oktaは受験者に再度受験するよう依頼する権利を留保します。

不服の申し立て:受験者には、試験結果の不服の申し立てを提出する権利があります。不服の申し立てが書面で提出されると、Oktaは受験者の結果を確認して、スコアの決定結果に誤りがないかを判断します。

問題の採点有無:試験には、採点される問題に加えて、採点されない問題が含まれる場合があります。受験者に提示される問題の総数は試験ページに記載されている数よりも多いことがあります。これは、試験で一般的に行われる慣行です。どの問題が採点対象外であるかは、受験者には知らされません。採点されない問題が試験に含まれている場合、試験の解答時間は、すべての問題を解答し、かつ見直すための時間を考慮したうえで設定されています。試験結果には、採点される問題に対する成績のみが反映されます。

再受験

試験コンテンツの完全性を保ち、受験者が不合格後に余裕をもって準備ができるように、再受験に関する規則が整備されています。再受験のための条件は以下のとおりです。

- ・ 1回目の不合格から24時間後に、試験を再度受験できる
- ・ 2回目以降の受験で不合格になった場合は、再度受験するまでに14日間待つ必要がある
- ・ ベータ版試験は1度にかぎり受験できる
- ・ すでに合格した試験を再度受験することはできない
- ・ 受験料は、受験のたびに支払う必要があり、不合格であっても受験料は返金されない
- ・ Oktaの認定資格試験の再受験料は再受験ごとに100米ドルである

指定された期間を待たない再受験や、虚偽の身分証明情報を使用して受験登録するなど、いかなる方法でも再受験ポリシーに違反した場合は、試験結果が無効となる可能性があります。再受験ポリシーの違反が明らかになった試験結果は無効とされ、受験した認定資格が認められることはありません。繰り返し違反した場合には、Okta Certificationプログラムへの参加が禁止されます。

受験規則

試験結果の正確性と有効性を保つため、監督の下行われる試験受験時間内は、以下の規則に従う必要があります。規則のいずれかに違反した場合、試験の中止、もしくは最悪の場合は、試験をキャンセルする場合があります。

- ・ 受験デスクの上は整頓されており、コンピューターモニターまたは画面1台、キーボード1台、マウス1つのみが利用できます。
デュアルモニターやデュアル画面は利用できません
- ・ 受験エリアでの飲食はできません
- ・ デスク上に電話、計算機、その他の電子機器を置くことはできません
- ・ 受験中にメモ、教材、書籍を参照したり、試験以外のウェブサイトアクセスしたりすることはできません
- ・ 受験時にジャケット、フード、帽子、ネクタイまたはスカーフを着用してはいけません
- ・ 室内には受験者以外は立ち入ってはなりません
- ・ 受験中は、電話の応対を含め、他者と話してはいけません
- ・ 受験時間内は着席したままでいなければならない、化粧室の使用も含め、いかなる理由でも部屋を離れてはいけません
- ・ 違反行為を発見した場合には、監督者はいつでも受験を停止することができます。また、監督者は試験を中止することもでき、その場合は受験自体が無効であると見なされることを意味します

ポリシー

Certificationプログラム契約

Okta Certificationプログラム契約(以下「本契約」)は、受験者のプログラムへの参加にあたって遵守すべき条件を定めています。試験に登録する前に必ず本契約内容を読んでください。条件に合意しなければ、Okta Certificationプログラム試験への登録や受験はできません。本契約は試験当日の受験前に表示されます。条件に合意しない場合、受験することも、受験料の払い戻しを受けることもできません。本契約において付与される受験者の権利は、試験に合格するか、認定または再認定に関して明記された要件を満たせば、有効になります。

本契約の条件に違反した場合、受験の禁止、スコアの無効化、認定の一時停止または取り消し、あるいはプログラムへの参加禁止につながるおそれがあります。

認定資格受験者の行動規範

受験者は、いかなるカンニング、セキュリティ違反、不正行為、Okta試験の信頼性や機密性を損なう行為またはOkta認定プログラムの信頼性と機密性を損なう行為にも加わってはなりません。そのような行為には、以下の行為が含まれますが、これらだけに限定されません。

- ・ 事前にOktaからの書面による承諾を得ずに、試験問題、解答または内容をほかの人に公開すること
- ・ 事前にOktaからの書面による承諾を得ずに、試験開始前または試験後に試験内容について話し合うこと
- ・ (暗記した内容を基に再作成することも含め、いかなる方法でも) Okta試験のコピーを取得または作成することや、ウェブ掲載やディスカッションフォーラム、チャットルーム、学習ガイドなど、いかなる方法でも実際の試験内容を公表、販売、配布すること
- ・ 試験前または試験中に認可されていない準備教材(一例として「ブレインダンプした」資料や実際の試験問題、その他の不正に公開された試験内容が挙げられるが、これらだけに限定されない)を使用すること
- ・ 虚偽の本人確認情報または虚偽の住所情報を提出するために、試験への登録時または受験時に偽造された書類を提出すること。これには、ほかの受験者へのなりすましや替え玉受験が含まれる
- ・ 偽造または改ざんされた認定資格、スコアレポートまたはその他の書類や電子メディアを使用して、認定状況を偽ること
- ・ Oktaの認定資格試験で不当な優位性を得ることを目的として、受験に利用する機器を改造または改ざんすること
- ・ 方法を問わず、Okta試験でサポートを行うことや意図の有無に関わらずサポートを受けること
- ・ 受験会場で混乱を招くことや職業上の規範に反して行動すること
- ・ 受験中にほかの受験者と会話することやコミュニケーションを取ること
- ・ Okta試験再受験ポリシーまたは本契約の条件に違反すること

試験結果を留保する場合について

Oktaはすべての試験の健全性をチェックして、認定資格受験者の行動規範への違反を特定し、試験結果の有効性を保っています。試験の健全性のチェック時に成績に異常が検出され、納得のいく説明を得られない場合、Oktaは試験結果を留保する場合があります。同様に、行動規範への違反またはその他の違反を行えば、試験結果を留保することがあります。試験結果が留保された場合、受験者は、決定について不服を申し立てることができます。留保された試験結果について、受験者本人以外に報告されることはありません。別段の定めがない限り、留保された試験結果は、違反通知から30暦日以内にOktaの認定記録システムから削除されます。行動規範への違反により試験結果が留保された場合、以下に記載されているとおり、Oktaはさらなる措置を講じる場合があります。

ポリシー違反の通知とそれに伴う制裁について

受験者が行動規範に違反したとOktaが判断した場合、違反の通知と適用される制裁内容が受験者に送付されます。行動規範に違反したとされた認定資格受験者には、違反に対する異議を申し立てるために、評価に関連する情報を提出する機会が与えられます。受験者は、メールアドレスを含め最新の連絡先がOktaの認定記録システム (prod.examity.com/okta) に保存されているかを必ず確認してください。

不服申立てのプロセス

受験者はOktaから違反の通知と適用される制裁内容を受け取ってから30暦日以内にOkta受験者不服申立てプロセスに従って書面による不服申立てを提出する猶予が与えられます。すべての不服申立て書はメールの件名に「不服申立て」と記載して、certification@okta.com に提出する必要があります。

行動規範への違反に対する改善措置

Oktaによって行動規範に違反したと判断された受験者は、Oktaが必要と判断した場合、インシデントや違反の重大さに応じて以下のうち1つ以上の改善措置の対象となります。(ただし、改善措置はこれらに限定されません。)

- ・ 当該決定が下された日から最長で12暦月の間、該当する試験のOktaの認定資格は否定される
- ・ 試験結果を留保する
- ・ 再受験を要求する
- ・ 最低6暦月の間、あらゆるOkta試験への登録および/または予約をすることができない
- ・ その他、法的な改善措置を含め、Oktaが行動規範を履行するうえで必要かつ適切であると見なしたあらゆる適切な措置の実施

認定資格受験者の行動ポリシーに関する質問

Oktaの目標は、認定資格受験者が行動規範とそれに違反した場合の結果を認識できることです。行動規範についてご不明な点がある場合は、メールの件名に「行動規範」と記載して、certification@okta.comまでお問い合わせください。

セキュリティインシデントのOktaへの報告

Oktaの認定資格の価値を保つことは、協力が必要な取り組みです。個人は、ポリシーへの違反を示す情報や証拠を持っている場合、インシデントをメールでOkta (certification@okta.com) に提出することが推奨されています。

再認定ポリシー

Oktaサービスには、新しい機能が早いペースで追加されており、認定資格受験者は機能の拡張に遅れずについていくことを期待されています。認定を受けた後も、認定資格を最新の状態に保って、該当するOktaの認定資格ロゴを使用するには、継続的に要件を満たす必要があります。これには、特定のトレーニングの完了、メンテナンス試験または指定された頻度でコア試験を受験することが含まれます。

別途通知があるまでの間、Oktaの認定資格を所有する個人は、24か月ごとに認定資格を更新するか、24か月ごとにより高いレベルのOktaの認定資格を新たに取得する必要があります。

再認定プロセスの詳細については、再認定プログラムページ (okta.com/stay-current) をご覧ください。

認定資格の更新時期になると通知が届きます。通知は試験への登録時に入力したメールアドレスに送信されます。メールアドレスが、Examityシステム (prod.examity.com/okta) で最新の状態に保たれているかをご確認ください。

プログラムの改訂と試験の終了

Oktaは、自らの裁量により、いつでも認定試験を改訂、差し替えまたは終了する権利を有しています。プログラムのポリシー、メリットおよび要件もタイミングを問わず改訂される場合があります。プログラムに関するお知らせは、Oktaの認定資格ウェブサイトで発表され、試験への登録時に受験者が入力したメールアドレスに送信されます。メールアドレスが、Examityシステムで最新の状態に保たれているかをご確認ください。

認定資格ロゴの使用

認定資格の要件を満たすと、受験者はOktaから認定取得を示すロゴへのアクセス権を受け取ります。認定資格は個人が取得するものであり、企業が取得するものではないため、ロゴは認定を取得した個人によってのみ、以下の方法で使用されます。

- ・ 印刷形式またはデジタル形式の名刺
- ・ LinkedInなどのソーシャルメディアの個人プロフィール
- ・ 認定を取得した個人のプロフィールを記載したウェブサイト
- ・ 履歴書
- ・ メールの署名
- ・ 認定取得者は、**Okta Certificationプログラム契約**に従って、ロゴを使用する権利と制限事項を遵守することを約束するものとします。

余白の測り方

余白は、最低でもxとします（「o」の半分の高さと同幅）。余白は円の端から測る必要があります（図を参照）。常にロゴとほかの要素の間に十分な余白（最低でもx）を確保してください。



縦方向と横方向の位置固定

横方向

横方向で文字列を使用する場合は、中心を合わせます。



縦方向

縦方向で文字列を使用する場合は、中心を合わせます。



色

ルールに応じた認定バッジには、取得した資格を公式に示す固有の色があります。バッジの色を変更することはできません。

データとプライバシー

本ハンドブックまたはCertificationプログラム契約に別段の定めがない限り、Oktaとのコミュニケーション時にやり取りされる個人情報の収集、使用および開示はOktaのプライバシーポリシーの対象となります。

Okta、テストサービスプロバイダーおよびその他の関連するサードパーティーサービスは、試験資料および認定資格の処理、プログラムの管理、プログラム契約コンプライアンスの確認、プログラム製品やトレーニング、サービスの販売と向上を目的として、受験者のデータを収集、処理および使用できます。

要請があった場合、Okta Certificationチームは、ご要望された個人の試験および認定状況に関するサードパーティーのリクエストを確認するものとします。

最新情報

Okta Certificationプログラムに関する情報は、Okta TrainingおよびOkta Certificationウェブサイトで見ることができます。よくある質問に対する回答は、オンラインFAQに掲載されています。

さらにご不明な点がある場合には、certification@okta.comまでお問い合わせください。

Oktaサービスのイノベーションとプログラムへの新たな認定資格の追加に伴い、Okta Certificationプログラムは皆様のご期待に沿って進化を続けます。

Examityシステムに登録されたメールアドレスを最新の状態に保って、プログラムに関するお知らせを受け取れるようにしてください。

重要な用語の定義

Okta Certificationチームによって定義された重要な用語は以下のとおりです。これらの用語は、ほかの認定資格用資料で使用されています。Oktaの認定資格の受験者が、Okta Certificationチームによって頻繁に使用される重要な用語に関する共通の理解を得られるよう説明されています。

試験の停止 (Exam Discontinuation) : 試験が停止されると、該当する試験を購入することはできなくなります。また、受験もできなくなります。停止された試験は、プログラムから削除され、アーカイブされます。認定資格受験者は、資格を取得するために当該試験を受験することはできなくなります。停止された試験によって、現在の資格所有者の認定状況に影響を受けることはありません。停止された試験に合格してすでに取得している認定資格は、当該認定資格の有効期限まで有効と見なされます。

認定資格の終了 (Certification Retirement) : 認定資格が終了すると、該当する認定資格を取得することはできなくなります。すでに取得している認定資格は、当該認定資格の有効期限まで有効と見なされます。

認定資格有効期限の満了 (Certification Expiration) : 認定資格の有効期限が満了となると、該当する認定資格は有効とは見なされなくなります。認定資格は、Oktaが定義する2通りの方法で満了します。認定資格は、事前に設定された期限に応じて有効期限が満了となることがあります。たとえば、資格取得日から2年が経過した場合やプログラムの決定に基づく場合です。あるいは、Oktaが個人の認定資格、認定プログラム、認定トラック全体の有効期限を強制的に満了とする場合があります。

Oktaは、試験の停止と認定資格の終了および有効期限満了については、十分な時間的な余裕をもってお知らせします。なお、停止された試験、終了した認定資格および有効期限が満了となった認定資格は、認定資格のウェブページに12か月間掲載されます。

Oktaの認定資格のライフサイクルの段階

以下のステップは、Oktaの各認定資格のライフサイクルの段階です。

1. 認定資格プログラムが発表されます。
2. 認定試験が一般向けにリリースされます。
3. 認定試験の停止が停止日の3～6か月前に発表されます。
4. 認定試験が停止されます。
5. 認定資格の終了が認定資格終了日の3～6か月前に発表されます。認定資格は終了日後も有効です。
注意: Oktaが認定資格プログラムの有効期限を強制的に満了とした場合、認定資格の有効期限は認定資格の有効期限が切れる3～6か月前に発表されます。
6. 有効期限が切れると、認定資格は有効ではなくなります。

Oktaについて

Oktaは世界的なアイデンティティ企業です。当社は独立した大手アイデンティティパートナーとして、場所やデバイス、アプリを問わず、あらゆる人がさまざまなテクノロジーを安全に利用できるようにします。信頼性の高いブランドからもOktaは信頼を寄せられており、安全なアクセスや認証、自動化を実行できます。Okta Workforce Identity CloudやOkta Customer Identity Cloudの核となっている柔軟性や中立性により、カスタマイズ可能なソリューションと7,000を超える事前構築済みの統合機能を利用できるため、ビジネスリーダーや開発者はイノベーションに集中し、デジタルトランスフォーメーションを加速させることができます。当社は、アイデンティティが各自に帰属する世界を構築しています。詳細については、okta.com/jp をご覧ください。

